



## 新しいスタート

これが新クラス「25R」である。このクラスでこれからの2年間、卒業までの時間を過ごすことになる。三重大行事を2回ずつ創り上げ、苦しい受験をともに戦い、そして卒業後に日比谷での日々を振り返る時、まず最初に思い浮かべることになるだろうクラスが、この25R（35R）である。その大切な意味をかみしめて、ぜひ、みんなでイイクラスを創りあげてほしい。

\*

ところで、私は担任の保戸塚（ほとづか）です。「ほとづか」でも「ほどづか」でもない、「ほとづか」です…と書いたが、日比谷に来て14年目、未だに「保土塚」と間違われたりするし、それほど読み方にも字にもこだわってはいないのだが、まあ、せっかくだから担任の名前くらいは覚えてください。

（昔、まだ大学の講義や試験が牧歌的だったころ、つまり、優秀な学生はつまらない講義などサボるのが当たり前？といった雰囲気があったころ、ある大学の先生が、年度末の試験に、「この講義を担当した私は次のどれでしょう？」と、顔写真を4つ並べた問題を出したという都市伝説がある…）

縁あってこのクラスの担任をすることになったが、13Rの時から3年連続担任という不幸な？人が5人、昨年授業を担当していた人が20人ということで、半分くらいの人とは顔見知りである。逆に言うと、およそ半分の人とは（臨海教室や部活などで顔を会わせてはいるとはいっても）初対面といった感じで、私としてもフレッシュな気分を今日を迎えている。授業は、古典を週3時間担当。古典が

苦手な人は、担任が担当でイヤだなあ…と感じるかも知れないが、古典が不得意な人がいることくらい先刻承知だし、授業と担任業務とは別物であると考えているので、気にすることは全然ない。それに、授業も一年生の復習から入るので、ぜひ、再スタートする気持ちでがんばってほしい。

新しいクラスがスタートした当初は、1年生の時のクラスのことが懐かしく思い出されることもあるに違いない。多くの諸君が「今のままのクラスでイイのに…」と感じていたらしいことも漏れ聞いている。クラスの雰囲気だって違うし、友だちの顔つきや態度、学級タイムのやり方、第一、担任の生徒との接し方だって大きく違っていることだろう。教室の場所までが大きく異なるし…。しかし、若い君たちにとって大切なことは、過去を（反省することは大切だが）懐かしむことではなく、目の前の未来に向かって日々歩き続けることだろうと私は思う。

\*

誰にでもイイ面（長所）と悪い面（短所）がある。100%の善人などいないのだ。同じように、どの学校・どのクラスにも、イイ面と悪い面とがあるだろう。どうか周囲の友だちのイイ面を「認めあい高めあう関係」を築いて、生涯の友と呼べるような存在を見つけながら、日比谷高校の、そしてこの25Rのイイ面とたくさん関わって、悔いのない、思い出に残る学校生活を送ってほしい。

その手助けになることを願って、担任はこの「We」を書いていきたいと思う。